

天沼小だより

校長 大里 忠弘



地域の方への感謝の集会

天沼小だより26号で「感謝集会」についてお伝えしましたとおり、今年も地域の皆様をお招きすることができませんでした。代表の方お二人を校長室へお招きして、児童代表委員からお花と手紙をお渡しました。全校児童には11月19日の朝、その時の様子を動画で紹介しました。併せて、校長から次のように話をしました。



今日は、感謝集会です。日頃、天沼小学校の子ども、私たちのために力を貸してくださっている人たちに、ありがとうの気持ちを伝える日です。これまでは、交通指導員さんや学校支援隊どんぐりの皆さんを招いて、お手紙とお花を学校で渡していました。新型コロナウイルス感染症の影響で、去年、今年と学校にお招きすることができません。先日、代表のお二人においていただき、児童代表委員からお花とお手紙を渡しました。その時にビデオメッセージをいただきましたので、今日放送でお見せします。

さて、校長先生からは、感謝ということについて少しお話をします。「おかえしの法則」というお話です。人からいただくもので、エネルギーがたまって元気になるものが3つあります。

- ①つめ：感謝 「ありがとう」と感謝されると誰でもうれしくなりますね。
- ②つめ：笑顔 誰かの笑顔を見ると、やっぱりうれしくなりますね。
- ③つめ：賞賛 「今日は素敵な服を着てますね」などとほめられると、これもうれしいですね。

この3つを人からもらうと、私たちは元気になります。

この3つの反対は何でしょう。

- ①不平不満という文句
 - ②不機嫌な顔
 - ③あら探し
- の3つです。

不機嫌な顔をして、相手の悪いところを探して文句を言っていれば、言われた人は元気をなくすでしょう。元気のない人に、感謝・笑顔・賞賛の「おかえし」を注いであげると、元気になっていきます。

「感謝」「笑顔」「賞賛」をたくさんあびたものは、「プラスのエネルギー」を貯めています。エネルギーがなくなって元気のない人が、その前に立つと、エネルギーが体の中に流れ込んでくるのだそうです。例えば、富士山。「きれいだね」「かっこいいね」「やっぱり日本一の山はすばらしいね」と、たくさんの人からほめられている富士山は、プラスのエネルギーをたっぷりため込んでいます。「富士山を見ると元気になる」という人がたくさんいるのは、富士山がため込んだエネルギーをいただくからなんだそうです。世界遺産になるような立派な建物や、美しい芸術品などもエネルギーを貯めやすいようです。何百年もの間、人々からほめられてきたものはそれだけで価値があります。

人間もエネルギーを貯めることができます。普段、「感謝」「笑顔」「賞賛」をたくさん与えて周りの人を元気にしておくのと、自分のエネルギーがなくなったときに、周りの人から元気をもらうことができます。風邪を引いたり、体調が悪いときは、エネルギーがなくなっているときなので、この3つのエネルギーを吹き込んであげると元気になるらしいです。

あなたが、たくさんの人に「ありがとう」と言い、いつも笑顔を見せながらいろいろな人に「すごいね」「じょうずだね」「かっこいいね」などとほめ言葉を言っていると、「あなたのそばにいると元気なる」と思われて、どんどん人が集まってきます。

反対に、文句ばかり言って、不機嫌な顔で人の悪いところばかり探していると、「あの人の近くにいると、元気がなくなる」と思われて、人は去っていくようになります。

周りの人に、「ありがとう」「えがお」「ほめことば」、このおかえしの3つを浴びせていると、自分にもいいことがたくさん帰ってきそうですね。